

## 平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 阪南市  
 実践研究校名 桃の木台小学校

【公開授業】公開日：平成26年 2月13日  
 対象学年：5年

(教材・教科書名) Hi, Friends! 1 (単元名) Lesson7 What's this?	(本時の指導の目標) 「私の宝物はなんでしょう」についてヒントを工夫して考え、楽しみながら交流する。
--	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・子どもたちが活動の手順がわかるように電子黒板を使用した。
- ・スリーヒントクイズを作るにあたって「私の宝物」を題材にした。このことで子どもたちはより一層友だちに伝えたいという感情が生まれた。
- ・子どもたちの考える手立てとなるようにワークシートを工夫した。

(授業後を終えた教員の感想)

- ・子どもの活動時間が短かった。
- ・緊張していたのが子どもたちに伝わってしまい、いつも通りの元気がなかった。
- ・紹介する宝物を「物」などと限定しておけば、もっとスリーヒントを簡単に考えられたのではなかったのか。

【研究協議会】

(テーマ) 指導方法の工夫	(指導・助言者) ・大阪府教育委員会事務局市町村教育室小中学校課教務グループ 信田 清志 指導主事 ・阪南市教育委員会 中井 保則 指導主事
------------------	--

(研究協議会で出された意見)

- ・子どもの活動時間が少し短かった。
- ・Teachers talk や英語の絵本の読み聞かせなどを行うことで、児童のボキャブラリーが増えたりリスニング能力が上がったりする。
- ・スリーヒントクイズをするにあたって、必ずしも英語で作らないといけないのではな

- く、子どもの実態に合った問題づくりをしていった方がよいのではないのか。
- スリーヒントを作るにあたって戸惑っていた子どもが多かった。スモールステップを踏んでから楽しめる活動にすればよかったのではないか。
- 

(まとめ)

1. ゴールから逆算して考えた授業づくりをしていかなければいけない。
2. 授業で取り組んだことを阪南市内で共有し、情報交換を積極的にしていかなければいけない。